

2006年10月 「INAXライブミュージアム」グランドオープン

創業の地・常滑から、ものづくりの心を伝えます

TOPICS

■文化機関としての任務

去る10月1日、愛知県常滑市に「INAXライブミュージアム」がオープンしました。

INAXは、企業は「経済機関であるとともに、文化機関でなくてはならない」と考え、自社で展開する文化活動の重要な一環として、1986年に「窯のある広場・資料館」を開設し、以来、「世界のタイル博物館」、「陶楽工房」など、順次、文化施設を充実させてきました。そして2006年10月1日、「土・どろんこ館」、「ものづくり工房」の開館を機に、この地域を「INAXライブミュージアム」と命名、「発見と継承」をキーワードに発想から製品まで、ものづくりの心を伝えていきます。

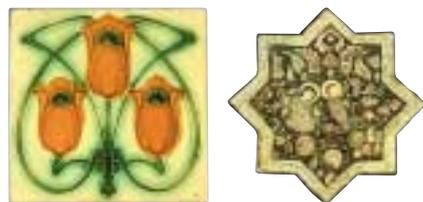
「INAXライブミュージアム」ではやきものの原点である土から、最新の製造技術・デザインまで、「5つの発見館」の展



示や体験を通して、やきものの長い歴史ともものづくりの魅力を紹介します。

各館の展示やワークショップなどの活動を通じて“ものづくり”の一端を体験・体感・発見することにより、来館者

の皆さまと共に、古くからの技術の素晴らしさやものづくりの面白さを見つめ直し、その心を大切に継承していきたいと考えています。✿



世界のタイル博物館 (1997年開設)

タイル研究家・故山本正之氏が常滑市に寄贈した世界各国のタイル約6,000点をもとに、紀元前から近現代の装飾タイル1,000点を展示。タイルの歴史や製法、技術などを分かりやすく紹介している日本で唯一のタイルの博物館です。

INAXライブミュージアム (5館共通)

〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町1-130
TEL.0569-34-8282 FAX.0569-34-8283
開館時間/10:00~18:00 (入館は17:30まで)
休館日/第3水曜日 (祝日の場合は翌日)、年末年始
共通入館料/一般:600円、高・大学生:400円、
小・中学生:200円、70歳以上:500円、
障害者:無料 (税込、各種割引あり)
ホームページアドレス/http://www.inax.co.jp/ilm/



窯のある広場・資料館 (1986年開設)

1921年に築かれた大煙突と内部に大きな窯を抱く建物を整備し、貴重な産業遺産である銑色に輝く窯の内部を公開。華やかな染付古便器や建築装飾材「テラコッタ」も展示しています。また、ビル建築におけるタイル文化の普及に貢献してきた「トンネル窯」も、大量生産時代を象徴する設備として一部移設し、再現しています。



ものづくり工房 (新設)

国内外の建築家、デザイナー、窯元とのコラボレーションによって“ものづくりの未来形に挑戦する場”として新たにオープン。やきものづくりの心にこだわり、INAXだからできるものづくりを追求し続けています。



土・どろんこ館 (新設)

世界中のあらゆるところにある土は、やきものの原料であり、INAXのものづくりの原点です。新たに開設した「土・どろんこ館」は、土に触れ、遊び、創作することによって、“土の魅力や可能性”を発見して楽しむ体感型の施設です。この建物では外部、内部ともに、土のさまざまな表情を随所で感じることができます。



陶楽工房 (1999年開設)

モザイクアートやタイルの絵付け、更に本格的なやきもの体験まで、気軽に「陶」が「楽」しめる工房です。

INAXニュース

グッドデザイン賞を受賞！
「INAXサステナブルスタイル・プロジェクト」など12機種



INAXサステナブルスタイル・プロジェクト
上：「フォームパス」、下：「育てるキッチン」

2006年度のグッドデザイン賞が発表されました。INAXでは、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいる「INAXサステナブルスタイル・プロジェクト」を始め、合計12点が受賞しました。

これによって、1966年度の「ポリセット」(ポリバス)の受賞から、2006年度で累計受賞数が162件となりました。今後も継続して、機能性を持った優れたデザインを追求していきます。

大便器で初のエコマーク取得！
超節水「ECO6 (エコシックス)」の「アメージュV便器」

6Lの超節水洗浄を実現した「ECO6」トイレの主力品「アメージュV便器」が大便器で初めてエコマークを取得しました。旧来型の60%、2日でお風呂1杯分以上の高い節水効果と、年間27LのCO₂を削減し地球温暖化防止に貢献する点が評価されたもの。

今回の認定は、サイホン式の「アメージュV便器」、ネオボルテックスの「アメージュC便器 (床排水タイプ)」の2機種。INAXでは、「ECO6」トイレの全商品トイレのエコマーク取得を目指しています。

※エコマークは厳しい審査基準をクリアし、環境保全に役立つことを(財)日本環境協会が認定した商品にのみ付けられるブランドマークです。

新ショールームオープン

○さいたまショールーム (移転)

電話：048-668-1794

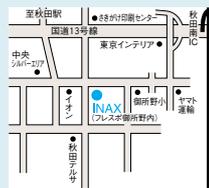
所在地：さいたま市北区吉野町1-23-6



○秋田ショールーム (新規)

所在地：秋田市御所野元町1-1-11

電話：018-826-1719



○山形ショールーム

所在地：山形市城西町4-27-33

電話：023-647-1797



ギャラリー＋イベント

<http://www.inax.co.jp/culture/>

銀座 INAXギャラリー

タワー展 —内藤多仲と三塔物語—

会期：開催中、11月18日(土)まで

会場：ギャラリー1

休廊日：日祝日

○東京タワー、名古屋テレビ塔、大阪通天閣。実はこれらの構造は、「塔博士」と呼ばれた内藤多仲が設計したもの。多仲を父に、都市を母に持つ、タワー3兄弟の約50年間の変遷とそれぞれの魅力に迫ります。



昭和30年代の三塔
(左：名古屋テレビ塔、
中：東京タワー、右：通天閣)

島田忠幸展(立体)

—森に隠れた銀色の犬たち—

会期：11月1日(水)～28日(火)

会場：ギャラリー2

休廊日：日祝日

○アーティストトーク開催

日時：11月1日(水) 18:00～19:00

会場：銀座ショールーム9F



「your body is a target!」(部分)
(H97×W270×D360cm
アルミニウム 2005年)

西雅秋展(立体)

会期：12月～2007年1月(予定)

会場：ギャラリー2

休廊日：日祝日

銀座 ガレリアセラミカ

高田美智子展

会期：11月2日(木)～12月4日(月)

休廊日：11月15日(水)

○アーティストトーク開催

日時：11月2日(木) 18:30～19:00

会場：ガレリアセラミカ



H40×W25cm (1点) 2005年

村田佳穂展

会期：12月7日(木)～25日(月)

休廊日：12月20日(水)

○アーティストトーク開催

日時：12月7日(木) 18:30～19:00

会場：ガレリアセラミカ

大阪 INAXギャラリー

『室内』の52年展

—山本夏彦が残したもの—

会期：開催中、11月17日(金)まで

休廊日：毎週水曜日

○コラムニスト・山本夏彦が創刊したインテリア情報雑誌『室内』。さまざまな特集記事や連載を通して『室内』の魅力に迫りながら、時代と共に同誌が発してきたメッセージを改めて見直します。



『室内』のバックナンバーの一部。
52年間で615冊が発行された

タワー展 —内藤多仲と三塔物語—

会期：12月1日(金)～2007年2月16日(金)

(金)

休廊日：毎週水曜日

名古屋 INAXギャラリー

レプリカ展 —真似るは学ぶ—

会期：開催中、11月17日(金)まで

休廊日：毎週水曜日

○博物館の2次資料として活躍するレプリカ。一般にはあまり知られていないそれら製作の舞台裏を探り、レプリカの本质や見どころに迫ります。



「本證寺・孝養太子像」レプリカ

『室内』の52年展

—山本夏彦が残したもの—

会期：12月1日(金)～2007年2月16日(金)

休廊日：毎週水曜日

INAX出版 新刊案内

『青木淳 JUN AOKI COMPLETE WORKS 2 AOMORI MUSEUM OF ART』

執筆：榎木野衣、青木淳、中山英之

写真：鈴木理策

定価：3,675円(税込、好評発売中)

『10+1 (Ten Plus One) No.44』

特集＝藤森照信 —方法としての歩く、見る、語る。—

執筆：インタビュー：藤森照信、磯崎新、中谷礼仁他

定価：1,575円(税込、好評発売中)

WEB SITE 10+1

<http://tenplusone.inax.co.jp/>

○建築写真のアーカイブや海外建築書の紹介など。オープンハウスの模様は動画で配信。

WEB SITE Renovation Forum

<http://renovation.inax.co.jp/>

○「リノベーション」をキーワードに建築、設備、不動産、投資などさまざまな視点から都市再生の可能性を探る。